

令和4年度 学校推薦型選抜「小論文」
生物資源科学部 地域資源開発学科

文章で解答する設問については、解答の一例を挙げています。文意が解答例と同等の場合は正答とします。また、誤字脱字なども採点の対象です。

(出題の意図)

アドミッション・ポリシーに基づき、「農」や「食」の分野に関する基本的な知識、および課題を認識する力を評価することを目的として出題した。目新しい技術に対する課題分野、地域としての日本に関する英文、また図表の作成に関する作業を通して、本学科で学ぶために必要な基礎的な知識、論理的思考力、表現力が備わっているかどうかを評価する。

I

問1

(解答例)

すぐれているところ：

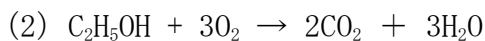
人工的な環境下で自然環境のストレスをなくし、生産量を上げることができる。

今後解決することが必要な課題：

水耕栽培は設備や維持管理費が掛かり、露地や施設の土耕よりも生産コストが高い。

問2

(解答例)



(3) エタノール燃焼により二酸化炭素が排出されても、それらはカーボンニュートラルと見なされるため。

II

問1

(解答例)

三世代前の日本人が家庭で常食としていたもの。

問2

(解答例)

栄養のバランスに優れている。

問3

(採点のポイント)

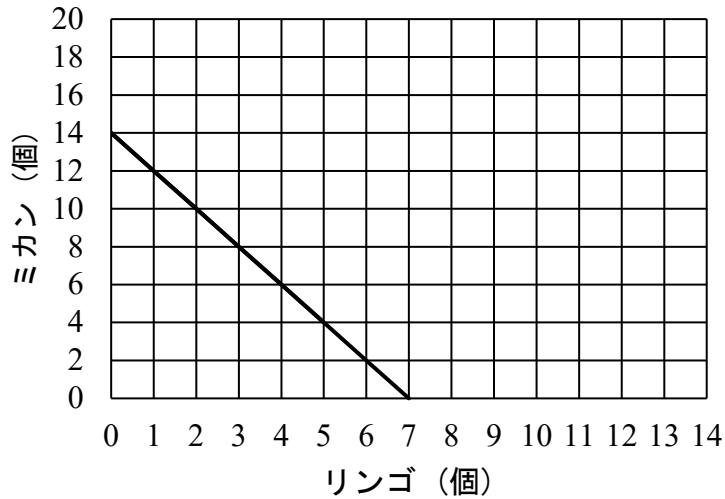
以下に示すようなことを説明できているかどうかを評価する。

日本では、米離れが進み、肉や菓子類などの高カロリー食品を好む傾向になり、肥満が社会問題化しているため。

Ⅲ

問 1

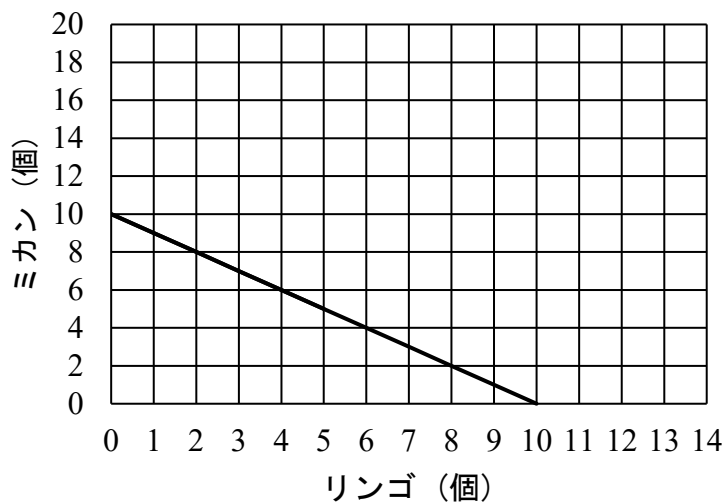
(解答例)



1,400 円あればミカンだけなら 14 個、リンゴだけなら 7 個買えるため、それぞれ点 (0, 14) と点 (7, 0) を通る直線を引く。

問 2

(解答例)



ミカンだけを買う時は、今まで通り 10 個しか買えないが、リンゴだけなら今までの倍の 10 個買うことができる。したがって、点 (0, 10) と点 (10, 0) を通る直線を引く。